



学びのきほん

中仙小学校

1. 学習に必要な持ち物



◆毎日の学習に必要な持ち物です。忘れずに準備しましょう。

※ランドセルや筆箱等に飾りは付けません。

【筆入れの中に】

- けずった鉛筆5～6本（Bか2Bの鉛筆です。短くなったら家で使います。）
- 白色の四角いプラスチック消しゴム 定規（模様なし，15cm程度）
- 赤と青の色鉛筆（またはペン） ネームペン

【道具袋や机の中に】

- のり はさみ 色鉛筆（クーピーなど） クレヨン
- 下じき 30 cmものさし 三角定規（2年生以上）
- コンパス（3年生以上） 分度器（4年生以上）

2. 「目・耳・心」 セットで聴く

◆人の話をしっかり聴くことで，学習への理解が深まります。

- （目）話す人の方を向いて聴く。
- （耳）最後まで話を聴く。話の途中で口をはさまない。
- （心）「なるほど」と思ったり，自分と同じ考えだったりしたときは，うなずきながら聴く。
- （心）手を動かさないで聴く。手に何も持たずに，手でいたずらをしないで聴く。

「聴く」は「目」と「耳」と「心」でしっかり相手の話を受けとめること。身に付けさせたい学習規律の重点です。

3. しっかりと考えを伝える

◆自分の考えをしっかりと伝えることで，自分の理解を確かめます。

- みんなに聞こえる大きさの声で話す。 きちんと立って話す。
- みんなの方を向いて話す。 最後まで話す。

◎身に付けたい発表の仕方（話型）

- わたしは（ぼくは）～ だと思います。
- わけは～ からです。
- ～さんに つけたします。
- ～さんの考えに さんせいです。（にています。）
- ～さんの考えに はんたいです。（ちがいます。）
- ～さんに しつもんがあります。（○～について おしえてください。）
- ～のところが よくわかりません。

◎自分の考えをはっきりと話したり，友だちの発表を受けて発表したりするときに役立ちます。

◎聴く人も，とても聴きやすくなります。

4. 学習に向かう姿勢

◆学習の基本として、次の約束をします。

- 手を挙げるときは声を出さず、指先まで「ぴん」としっかり伸ばす。
- 返事は、はっきり「はいっ」。起立してから相手意識をもって伝える。
- 座るときの姿勢は「ぐう・ぺた・ぴん」。
- 席をはなれるときは、いすを入れる。
- 次の時間の教科書やノートを机の上に準備してから休む。

ノートの使い方

◆次の点を基本とし、学年に応じた方法でノートを使います。

1. ノートと筆記用具について

- ◎ノートのサイズ、マス目の大きさ、線の広さは、学校側で指定したりアドバイスしたりします。学年に合ったものを使用します。
- ◎授業の教科ノート 1・2年生……B5ノート、3～6年生……A4ノート
- ◎下じきを使用します。学校では、無地やシンプルなデザインの下じきを使います。

■机の上には、ノートと教科書、4点セット ※筆入れは机の中にしめます。

4点セット:①えんぴつ ②赤・青えんぴつ(ペン) ③消しゴム ④定規

2. ノートに書くときは

◎先生の話をよく聴き、黒板と同じようにノートに書きます。

< 黒板 >		< ノート >
日にち・曜日を書く	→	約束の場所を書く
めあてや課題を書く	→	赤で囲む
まとめを書く	→	青で囲む
ふり返りを書く	→	約束の場所を書く



3. その他の約束

- ◎学習の集中をさまたげるような、消しゴム（形や香り）やカラーペンは使いません。もちろん、学習に不必要なものは持ってきません。
- ◎算数の文章題の筆算は、消さずに残します。
- ◎答え合わせをして、まちがえていたところは消さずに、赤ペンなどで直します。
- ◎見やすいノートづくりを心がけます。必要なコメントなどを書けるようにします。
- ◎ノートは最後の1ページまで、ていねいな字でていねいに使います。
- ◎学習シートをはるときは、はみ出さないようきれいにはります。
- ◎ふり返りを書いて、その時間の自分の取り組みを評価します。